

ご利用者様・ご家族様・関係者の皆様へ

春色デイサービス代表の大塚です。

過去のお手紙でお知らせしておりました「界面活性剤」ですが、5月中にも新型コロナウイルスに有効であることが経済産業省から正式に認められるもようです。

<https://medical.jiji.com/news/30898>

このように正式に認められると、一部の方が過剰になることも考えられますので、改めて何の権威もない大塚が偉そうにお手紙を配布いたします。

ご家庭でできる消毒として、次亜塩素酸消毒液と界面活性剤やリステリンなどを皆様にお伝えしてまいりましたが、まず消毒とは何なのかを一度立ち止まって考えてみる必要がございます。

#### ■消毒とは何なのか

除菌→殺菌→滅菌という言葉があり、右にいくにつれて強力を表現しています。そして全ての漢字から読み取れるように、細菌やウイルスを殺す（無力化する）行為です。人間も生物ですから、人間の細胞も傷つける行為であることを理解する必要があります。

#### ■正しい消毒とは

皮膚や体内には、驚くほど多くの常在菌がいて、ある種の共存をしてバランスを保っています。それが過剰な消毒によってバランスが壊れてしまうと、より感染のリスクが高まってしまうことも有り得るということを覚えておいた方が賢明です。

もともと人間には防御システムが備わっています。それを超して今回の新型コロナウイルスが存在していることが問題なのは理解しておりますが、過剰な消毒はそのリスクを更に高める可能性があるという点で留意が必要です。

次亜塩素酸消毒液についても、例え人体に触れなくても気化することで肺組織に付着します。つまり矛盾しているようですが、私達は職務上毎日消毒をしておりますが、一般家庭では消毒関係に過剰になりすぎないことが大切です。「何事もほどほどに」ということです。

また外国のように、公共の場所を防護服を着た人が日本でも消毒し始めたら、絶対に近くに寄ってはいけません。おそらく第4級アンモニウム塩というかなり強力な消毒液だからです。ハンカチやマスクで口を覆い、すみやかにその場から離れましょう。

### ■一部で終息の動きがみられる

欧米では一部の有識者からは一旦は終息傾向にあることが指摘されています。色々有名なビル・ゲイツさん（Microsoftの創設者であり、ワクチン普及活動の第一人者）も「6月頃には1度ある程度元通りになる」と言っています。

日本は後発なのでまだ長引くでしょうが、日本で流行っている新型コロナウイルスは、欧米で流行しているものほど強くないという説もあり、場合によっては一度は終息傾向に向かうのかもしれない。

またRNAウイルスの変異については以前お伝えしましたが、逆に変異を繰り返していくことで人体に無害化するケースもあります。ですからRNAウイルスだからと楽観も悲観もしてはいけません。

### ■終息が見えても油断しないこと

今回の新型コロナウイルス騒動は、世界中で無関心と不謹慎と無知が、次なるパニックを呼びました（現在進行中）。例えば時期尚早にワクチンが完成したとしましょう。そしたらそのワクチンを求めてパニックが生まれ、そこで新たな集団感染が起こることもあり得ます。

「ワクチンを打つから関係ない！」と思う人も多いかもしれませんが、RNAウイルスに対するワクチンですから、果たしてどこまで効果が保障されているのか等、よく確認する必要があります。

つまり、第一に行政の指示に従いましょう。行政の指示がない範囲では、きちんと心で感じて行動しましょう。何となく周りに流されるような身の振る舞いは、有事の際にこそ危険です。

### ■マスクの供給は増えている

マスク不足と言われていますが、インターネットではかなりの数が出回っています。また様々な日本企業が独自の技術を駆使して、高性能マスクを開発し、順次販売が開始されます。

恐らく今後は手放せないマスクですから、高齢の方は若い人（お子様・お孫様など）に頼んで手に入れてもらいましょう。

### ■まとめ

なんだか息の詰まるような環境になってますが、別に人類が滅亡するわけではありません。経済についても、お金は元々不安定な存在ですが、技術や物や人が本当の財産であり、これらは戦争でもしない限りは直ぐには消えてなくなりません。

とにかく、今はきちんと対策への協力と自由を我慢して、早く終息してくれることを祈りつつ、指定医療機関の方を皆で応援してあげましょう。

今回は以上です。いつもありがとうございます。